

リユース容器の取り組みについての質問状への回答

日本消費者連盟・環境部会(2021年6月14日現在)

	現在使用している容器の材質	リユース容器への変更	プラスチック資源循環促進法について
セブン&アイ・ホールディングス	回答しない	回答しない	回答しない
ファミリーマート	弁当容器の一部にバイオPEを、サラダやクール麺にはバイオPETを使用。2021年6月からは、パスタの一部容器を再生可能資源由来のバイオPP容器に変更。2020年4月からサンドイッチの包材変更(薄く、小さく)、2020年6月からPBヨーグルト飲料容器の紙製への変更、2021年3月から弁当・寿司の一部容器の紙製への変更などを実施。	導入計画は未定。	カトラリー、ストローのプラスチック対策を進めていく。関係省庁や業界団体で対応を協議の上決定していく。2021年5月より弁当やスープ用スプーンのプラスチック使用量を削減した新デザインを順次導入。
ローソン	紙と一般的なプラスチック。マチカフェ・紙カップ(一部)、まちかど厨房・紙容器(一部)、弁当サラダ調理麺・一般的なプラ(PE、PP、PS)、冷やし麺・再生ポリエステル。	現在店内淹れたてコーヒーでマイボトル持参で10円を値引きしている。	カトラリーやストローは、(使用抑制を)進める必要がある。関係省庁や業界団体と協議しながら検討している。
スターバックスコーヒージャパン	店内提供用は、マグカップが陶器、アイス用グラス(一部店舗で使用)がガラス。テイクアウト用は、ホットアイス兼用カップがFSC認証紙、フラペチーノなど一部のアイス用カップがPP。	2020年2月からは、軽量で持ち運びに便利な「リユーズブルカップ」を全店で販売。マイカップを持参すると本体価格から20円を値引きしている。2020年末には、沖縄の1店舗でデポジット製の返却型リユーズブルカップ提供のトライアルを実施した。	法令順守を前提に法案の内容をしっかりと分析し今後の在り方を検討していく。
ドトールコーヒー	店内使用の容器は陶器で、テイクアウトの容器は主にプラスチック。2021年春から一部地域の複数店舗で紙カップの使用を実験的に始めた。	導入予定は、今のところない。	国の方針を見守りながら検討していきたい。